

パレモ・ホールディングス株式会社 2024年2月期 第2四半期 決算説明会

2023年10月3日



1. 第2四半期決算の概要

・ 損益計算書の概要	P 4
・ 四半期業績の概要	P 5
・ 既存店売上高前年比の状況	P 6
・ 純利益の状況	P 7
・ 資産、負債及び純資産の状況	P 8
・ キャッシュ・フローの状況	P 9

2. 中期経営計画の進捗

・ 中期経営計画の概要	P11
・ 骨子(1)事業構造改革	P12～P14
・ 骨子(2)ガバナンス体制の強化	P14
・ 骨子(3)成長戦略	P14

3. 下期及び今期の計画

・ 下期数値計画	P16
・ 通期数値計画	P17
・ 下期施策	P18
・ 成長戦略 NOEMIE	P19～P20

4. 株主様情報

・ 株主様構成比	P22
・ 株主様還元策	P23
・ お問い合わせ先	P24

1. 第2四半期決算の概要

(百万円)

	23/2期 上期		24/2期 上期			
	実 績	売 上 比	計 画	実 績	売 上 比	前 期 比 増 減
売 上 高	9,254	100.0%	8,650	8,412	100.0%	90.9%
売上総利益	4,919	53.2%	4,450	4,402	52.3%	89.5%
営業経費	4,497	48.6%	4,005	3,948	46.9%	87.8%
営業利益	422	4.6%	445	454	5.4%	31
経常利益	486	5.3%	430	437	5.2%	▲48
純 利 益	461	5.0%	410	508	6.1%	47

※「収益認識に関する会計基準」等を前連結会計期間の期首から適用しています

売上高前期比 90.9 % (既存店売上高前年比 100.9 %)

売上総利益率 52.3 % (前年増減 ▲ 0.9%)

営業経費率 46.9 % (前年増減 ▲ 1.7%)

出 退 店 出店：11 店 退店：9 店 (純増：2 店)

(百万円)

	第1四半期				第2四半期			
	22/2期	23/2期	24/2期	前期比 増減	22/2期	23/2期	24/2期	前期比 増減
売 上 高	4,199	4,661	4,050	86.9%	4,397	4,593	4,362	95.0%
売上総利益	2,246	2,473	2,128	86.1%	2,372	2,446	2,273	92.9%
(売上総利益率)	53.5%	53.1%	52.6%	▲0.5%	54.0%	53.3%	52.1%	▲1.2%
営 業 経 費	2,493	2,300	1,940	84.3%	2,437	2,196	2,008	91.4%
営 業 利 益	▲246	172	188	16	▲64	250	265	15

第1四半期（概況）

- ・ 既存店売上高前年比は99.8%ながら、営業店舗数の減少が影響し減収
- ・ 円安・原価高騰の影響が継続し、売上総利益率は前年に比べ低下傾向
- ・ 不採算店舗退店の結果、経費率は低下

第2四半期（概況）

- ・ 6月苦戦も猛暑により夏物販売拡大
営業店舗数の減少の影響も縮小
- ・ 引き続き円安・原価高騰の影響が継続
売上総利益率の低下傾向も継続
- ・ 不採算店舗退店の結果、経費率は低下

上期既存店売上高前年比 100.9%

上期既存店客単価前年比 113.5%

	3月	4月	5月	第1 四半期	6月	7月	8月	第2 四半期	上期
売上高	106.1	97.4	97.3	99.8	93.6	100.1	112.4	102.0	100.9
客数	97.0	84.9	83.0	87.7	83.6	86.9	99.9	90.1	88.9
客単価	109.4	114.7	117.3	113.8	111.9	115.2	112.5	113.2	113.5

第1四半期 売上高 99.8%、客単価 113.8%

第2四半期 売上高102.0%、客単価 113.2%

- 3月 統計開始以来最も高い平均気温に
- 4月 中旬までは季節先取りの暑さとなり、下旬から一転、寒の戻りとなり関東北部などで季節外れの積雪も
- 5月 新型コロナの感染症法上の位置づけがインフルエンザと同じ「5類」に移行
上旬 記録的な大雨。中旬 不安定な天候と暑さの記録更新。台風2号発生

- 6月 統計開始以来、最も短い梅雨。北海道・東北では大雨、九州～関東甲信では、広い範囲で雨が少なく、「空梅雨」となった
- 7月 前半は梅雨により、日本海側を中心に記録的な大雨に。後半は、全国的に暑くなり、東京では7月の猛暑日の記録を更新
- 8月 全国的に気温が高く、記録的な暑さに。東京では年間猛暑日の最多記録更新

(百万円)	23/2期 上期	24/2期 上期	増減
営 業 利 益	422	454	31
営 業 外 収 益	88	6	▲81
貸倒引当金戻入	77	0	▲77
営 業 外 費 用	24	23	▲1
支 払 利 息	23	20	▲2
経 常 利 益	486	437	▲48
特 別 利 益	14	83	68
受 取 補 償 金	0	83	83
賃貸借解約損戻入	14	0	▲14
特 別 損 失	26	26	0
固定資産処分損	10	4	▲6
減 損 損 失	9	20	11
法 人 税 等	12	▲14	▲27
純 利 益	461	508	47

■営業外収益

前期:貸倒引当金戻入 77百万円
(返還懸念のあった敷金を回収)

■営業外費用

借入金の金利負担継続

■特別利益

当期:賃貸借契約の変更に伴う補償金の受取 83百万円

■特別損失

減損損失:前期比+11百万円
(前期9百万円 → 当期20百万円)

コロナ禍

(百万円)

	20/2期末	21/2期末	22/2期末	22/8期末	23/2期末	23/8期末
総 資 産	11,677	9,992	9,218	9,239	8,769	8,925
現金及び預金	2,294	2,135	2,209	2,524	3,044	2,826
商 品	1,949	1,608	1,808	1,762	1,455	1,542
有形固定資産	1,486	1,319	1,064	1,049	927	909
差 入 保 証 金	4,296	3,740	3,152	2,613	2,251	2,175
負 債	7,902	8,184	8,799	8,094	7,523	7,185
長短借入金	2,275	3,350	3,487	3,487	3,487	2,917
純 資 産	3,775	1,808	418	1,145	1,245	1,739
自己資本比率	32.1%	17.7%	4.2%	12.3%	14.1%	19.3%

流動資産 5,826百万円、流動負債 6,628百万円、流動比率 87.9%(前期 80.6%)

(純資産) 前期末対比 494百万円増加(四半期純利益508百万円)

※自己資本比率 前期末14.1% ⇒ 19.3%

(負債) 長短借入金 前期末対比 570百万円圧縮(返済)

(百万円)

	22/2期 上期	23/2期 上期	24/2期 上期
営業キャッシュ・フロー	▲848	▲253	415
投資キャッシュ・フロー	140	302	▲48
財務キャッシュ・フロー	131	265	▲584
現金及び現金同等物の増減額	▲576	314	▲217

営業CF 税引前四半期純利益 494百万円、減価償却費 114百万円、

投資CF 前期は退店店舗等の差入保証金の回収額が551百万円

財務CF 借入金の返済570百万円、優先株配当14百万円

※「継続企業の前提に関する注記」の記載解消(5月18日開示)

2. 中期経営計画の進捗

中期経営計画 数値計画

コロナ禍

(百万円)	コロナ前	コロナ1年目	コロナ2年目	中期経営計画（事業再構築計画）		
	20/2期	21/2期	22/2期	23/2期	24/2期	25/2期
	実績	実績	実績	実績	修正計画	計画
売上高	24,084	18,257	17,907	17,513	16,700	20,000
営業利益	504	▲1,325	▲709	527	650	900
（営業利益率%）	2.1%	▲7.3%	▲4.0%	3.0%	3.9%	4.5%
E B I T D A	735	▲1,065	▲446	747	880	1,200
出店（店）	44	14	19	6	20	—
退店（店）	35	91	49	103	20	—
期末店舗数（店）	487	410	380	283	283	346
店舗投資額（百万円）	838	312	378	179	330	—

中期経営計画 骨子

（1）事業構造改革の推進

- ・ アパレルを中心とした不採算店舗の退店
- ・ イルシー300への経営資源シフト
- ・ 店舗経費の効率化、本社本部費の削減

（2）ガバナンス体制の強化

- ・ 仕入在庫管理の仕組み構築
- ・ 適正管理のための組織改編
- ・ 業績モニタリング体制の構築

（3）成長戦略

- ・ イルシー300の出店強化
- ・ アパレルから雑貨への業態変更
- ・ EC強化（変化したニーズへの対応）

骨子(1)事業構造改革

- 契約満了・不採算店舗の退店 ⇒ アパレル 5店舗、雑貨 3店舗、複合店 1店舗
- イルシー300出店強化 ⇒ 出店10店舗、業態変更1店舗

(店)

ブランド別店舗数の状況	出 店	退 店	変 更	増 減	期末店舗
レギュラー店舗	0	5	▲1	▲6	112
Ludic Park / Lilou de chouhou / DAISY MERRY	0	1	0	▲1	37
RecHerie / DOSCH / 木糸土・Hare no hi	0	2	0	▲2	27
GAL FIT / SUZUTAN etc	0	2	▲1	▲3	47
NOEMIE	0	0	0	0	1
ラージサイズ店舗	1	0	0	1	10
アパレル事業 合計	1	5	▲1	▲5	122
Illusie300 (Siebelet1店舗含む)	9	3	1	7	152
INCENSE	1	0	0	1	9
雑貨事業 合計	10	3	1	8	161
複合店 (複数のブランドを併設した店舗)	0	1	0	▲1	2
合 計	11	9	0	2	285

骨子(1)事業構造改革

■事業ポートフォリオの転換が進捗 ⇒ アパレル・雑貨の二本柱体制へ

事業別 売上高 推移

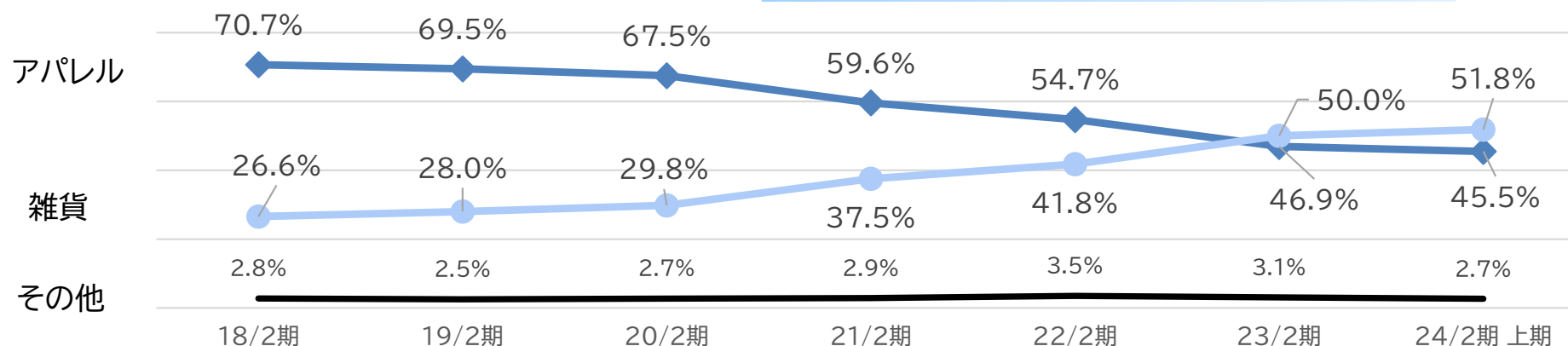
コロナ禍

(百万円)	18/2期	19/2期	20/2期	21/2期	22/2期	23/2期	24/2期 上期
アパレル	16,439	16,167	16,256	10,879	9,800	8,214	3,827
雑貨	6,178	6,520	7,176	6,852	7,479	8,759	4,360
その他	643	580	650	525	627	539	224
全社	23,262	23,268	24,084	18,257	17,907	17,513	8,412

※「収益認識に関する会計基準」等を23/2期より適用しています

事業別 売上高 構成比 推移

コロナ禍



骨子(1)事業構造改革の推進

安定的な収益の2本柱(アパレル・雑貨)体制の確立

- ①アパレル(抜本的MD改革) → 原価高騰に対応した価格転嫁の進行(115%程度上昇)
外出需要へ適応(通勤・旅行・イベント需要に対応)
- ②雑貨(既存店活性化) → 家ナカ需要の縮小に合わせた外出需要への対応に遅れ

骨子(2)ガバナンス体制の強化(変化対応力の強化による業績安定化)

- ・ 仕入・在庫管理：安定売上確保のための管理強化
 - アパレルは、回転率重視でプロパー販売が伸び、処分値下げと過剰在庫の抑制が進行。
 - 雑貨は、外出需要へのシフトが行き過ぎ、主軸の生活雑貨の在庫が過少に

骨子(3)成長戦略

①300円均一雑貨「イルーシー300」の拡大

新規出店 → 新規9店舗+催事1店舗出店、在庫バランスの是正が課題
派生業態への挑戦 → 外出需要対応のMD開発とテスト展開を実施中

②EC事業

アパレル レギュラー：「NOEMIE」6月末リアル2号店(大阪)OPEN連動施策など拡大
アパレル ラージサイズ：SNS(店舗インスタ開始)、インフルエンサーによる情報拡散促進
その他施策：楽天ファッション軌道化、直販サイト翻訳機能実装し海外購買対応、MA軌道化

3. 下期及び今期の計画

(百万円)

	21/2期	22/2期	23/2期	下期計画	24/2期	
	下期実績	下期実績	下期実績		前年増減	前期比
売上高 (既存店前年比)	9,885 86.4%	9,310 93.3%	8,258 104.1%	8,287 101.7%	28 ▲2.4%	100.3% —
売上総利益 (売上総利益率)	5,023 50.8%	4,735 50.9%	4,221 51.1%	4,247 51.2%	25 0.1%	100.6% —
営業経費 (営業経費率)	5,578 56.4%	5,132 55.1%	4,117 49.9%	4,051 48.9%	▲66 ▲1.0%	98.4% —
営業利益 (営業利益率)	▲554 ▲5.6%	▲397 ▲4.3%	104 1.3%	196 2.4%	91 1.1%	188.1% —
経常利益 (経常利益率)	▲555 ▲5.6%	▲356 ▲3.8%	94 1.1%	183 2.2%	88 1.1%	194.2% —
四半期純利益	▲927	▲887	100	241	140	240.7%

(百万円)

	21/2期 通期実績	22/2期 通期実績	23/2期 通期実績	通期計画	24/2期	
					前年増減	前期比
売 上 高 (既存店前年比)	18,257 75.0%	17,907 101.1%	17,513 109.1%	16,700 101.3%	▲813 ▲7.8%	95.4% —
売上総利益 (売上総利益率)	9,394 51.5%	9,354 52.2%	9,141 52.2%	8,650 51.8%	▲491 ▲0.4%	94.6% —
営 業 経 費 (営業経费率)	10,719 58.7%	10,063 56.2%	8,614 49.2%	8,000 47.9%	▲614 ▲1.3%	92.9% —
営 業 利 益 (営業利益率)	▲1,325 ▲7.3%	▲709 ▲4.0%	527 3.0%	650 3.9%	123 0.9%	123.3% —
経 常 利 益 (経常利益率)	▲1,321 ▲7.2%	▲674 ▲3.8%	580 3.3%	620 3.7%	40 0.4%	106.8% —
当期純利益	▲1,880	▲1,393	562	750	188	133.5%

(1)事業構造改革の推進

安定的な収益の2本柱(アパレル・雑貨)体制の確立

- ①アパレル(抜本的MD改革) → 物価上昇に合わせた適正価格対応(価値と価格のバランス)
暖冬対応(ニット・カットソーの単品強化、防寒衣料偏重是正)
- ②雑貨(既存店活性化) → 生活雑貨強化(ベンダー構成の再構築による品揃え充実と適正展開)

(2)ガバナンス体制の強化(変化対応力の強化による業績安定化)

- ・ 仕入・在庫管理：安定売上確保のための管理強化
 - アパレルは、引き続き、回転率重視による商品鮮度改善で過剰在庫の抑制を図る
 - 雑貨は、在庫コントロール手法の改善で、主軸の生活雑貨の品揃え是正を図る

(3)成長戦略

- ①300円均一雑貨「イルーシー300」の拡大
 - 新規出店 → 継続強化(生活雑貨を軸に競合他社との品揃え差別化を進め、出店立地を確保)
 - 派生業態への挑戦 → 外出需要対応のMD開発の継続とテスト展開の検証

②EC事業

アパレル レギュラー：「NOEMIE」コラボ企画の進行、リアル原宿店1周年連動施策実施
アパレル ラージサイズ：SNS・インフルエンサー活用継続、サイズレコメンドツール導入
その他：SNS広告強化、アプリ「パレモの日」開始、掲載画像のモデル着用強化、越境EC開始

NOÉMIE

量産型・地雷系ファッションに特化したEC発のZ世代向けアパレルブランド「NOEMIE」
2023年6月にリアル2号店として、大阪梅田 ヘップファイブにOPENしました。





愛嬌のある、魅力のある、愛らしい

ガーリー、量産型・地雷系・闇属性、参戦服、
双子コーデ、ゆめかわいい

普段も特別な日も可愛くいたい
扉を開くたびにときめきを感じる
お洋服でクローゼットをいっぱいにしたい
そんなあなたの願いに寄り添えるように
愛らしくて愛嬌のある魅力的な女の子をテーマに
お砂糖菓子みたいな甘さと
ちょっぴりダークでかわいらしさのある
お洋服をあなたに提案します



4. 株主様情報

株主様数 9,339名（2023.2.20現在）⇒ 8,804名（2023.8.20現在）

	22年8月20日			23年2月20日			23年8月20日		
	株主数		株式数	株主数		株式数	株主数		株式数
	人数(名)	比率(%)	比率(%)	人数(名)	比率(%)	比率(%)	人数(名)	比率(%)	比率(%)
個人株主 他	9,913	97.6	54.0	9,091	97.4	54.8	8,559	97.2	56.9
国内法人	178	1.8	23.1	170	1.8	22.5	171	1.9	25.2
機関 投資家	29	0.3	16.6	32	0.3	10.8	34	0.4	13.8
外国 法人・個人	39	0.4	6.2	46	0.5	11.9	40	0.5	4.1
合 計	10,159	100.0	100.0	9,339	100.0	100.0	8,804	100.0	100.0

※この他、第三者割当によりA種優先株式を近畿中部広域復興支援投資事業有限責任組合に割当。(22/6/30)
 早期に資金環境の安定化を図るため、迅速かつ確実性の高い第三者割当増資による資本性の資金調達を実施する
 ことで、自己資本の増強を図ることが、長期的な株主価値の維持向上のためには適切であると判断致しました。

配 当

(百万円)

	19/2期	20/2期	21/2期	22/2期	23/2期	24/2期 (予定)
中 間 配 当 金	3円	6円	0円	0円	0円	0円
期 末 配 当 金	※ 3 + 3円	6円	0円	0円	0円	0円
年 間 配 当 金	9円	12円	0円	0円	0円	0円

	19/2期末	20/2期末	21/2期末	22/2期末	23/2期末	24/2期 (中間)
資 本 金	100	100	100	100	100	100
資 本 剰 余 金	1,979	1,979	1,979	1,981	2,249	2,234
利 益 剰 余 金 他	1,430	1,673	▲280	▲1,673	▲1,111	▲602
株 主 資 本	3,506	3,749	1,769	382	1,232	1,726

※2019/2期末(記念配当3円を実施) = 東証二部への市場変更並びに名証二部への新規上場

< 株主優待 >

2023年2月20日を基準とする株主優待より休止としております。

今後も株主の皆様への利益還元につきましては、経営の重要政策と認識しておりますが、当面は将来の成長投資に耐えうる財務状況へと改善することを最優先課題と考え、株主優待の休止としております。

- ・住所 愛知県名古屋市中村区名駅5丁目
27番13号 名駅錦橋ビル6F
- ・TEL 052-581-6800
- ・FAX 052-581-6801
- ・担当者 <IR担当役員>
取締役 管理担当 太田 直人
Mail : n-ohta@palemo.co.jp

- ・この資料には、パレモ・ホールディングス株式会社(事業会社(株)パレモ含む)の現在の計画、業績に関する将来の見通しが含まれています。
- ・これらの見通しは、将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響をあたえるリスクや不確実な要素が含まれています。実際の業績は様々な要素により、これらの見通しとは異なる場合があります。